

科目名称	保健医療福祉のしくみ	学年学期	単位数	時間数
		2 学年後期		15
担当教員	永井 さつき	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師・助産師 保健師） ☐ 無	

【1】授業概要

超高齢・少子社会に入り、保健医療においては病院完結型から地域完結型への転換が進められて久しい。しかし、今後訪れる多死社会において見取りまでを含めたケアがどの程度地域で提供可能なのか、また、少子化による血縁者の減少の中で、一人一人が自分自身でいかに人生を全うすることができるのかという課題にも行き当たる。このような社会変化を見通した保健医療福祉関連制度や法律の改定・制定も相次いで実施され、保健医療福祉が連携した地域包括ケアシステムの充実が求められている。

本科目では、医療従事者として社会背景の変化を捉え、保健医療福祉職の連携・協働に活用できることを目的として保健医療福祉の全体像を学ぶ。

【2】学習目標

1. 現在のわが国の保健、医療、社会保障・福祉のしくみの概要を理解する。
2. これからの地域包括ケアシステムにおける医療従事者としての関連職種との連携・協働の重要性について理解する。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳および権利を尊重した多様な価値観をもつ人間の理解
- 3. 看護の基礎的知識・技術・態度の修得
- 4. 科学的根拠に基づいた看護援助の実施
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 看護専門職としての主体的な学びの継続

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	医療のしくみ	講義
2	公衆衛生のしくみ 1	講義
3	公衆衛生のしくみ 2	講義
4	公衆衛生のしくみ 3	講義
5	公衆衛生のしくみ 4	講義
6	社会福祉のしくみ 1	講義
7	社会福祉のしくみ 2	講義
8	筆記試験（45 分間）	

【5】評価方法

1. 筆記試験

【6】教科書

村上 潔 他著「看護学入門5 保健医療福祉のしくみ」第12版 メヂカルフレンド社 2021 年

【7】参考書

国民衛生の動向 2021/2022 一般財団法人厚生労働統計協会

【8】受講生へのメッセージ